

22日獣発第147号

平成22年8月11日

地方獣医師会会長 各位

社団法人 日本獣医師会

会長 山根 義久

(公印及び契印の押印は省略)

獣医師会活動指針の制定について

本会においては、獣医師自らが職業倫理を達成する上で、その指針となる獣医師の倫理綱領については、既に「獣医師の誓いー95年宣言（日本獣医師会・獣医師倫理綱領）」として定めていますが、獣医師会活動の理念としての活動指針は特に定めたものではありません。

今回、日本獣医師会及び地方獣医師会が獣医師会活動を推進するに当たり、その指標とする共通の理念を最近の獣医療をめぐる国内外の動向等を踏まえ「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。（日本獣医師会・獣医師会活動指針）」として別紙のとおり決定し、第67回通常総会において採択いただいたところでありますが、その制定にいたる背景事情は下記の通りです。

つきましては、別紙「日本獣医師会・獣医師会活動指針」を貴会会員獣医師に周知・普及いただくとともに、貴会における獣医学術振興普及対策、獣医事の向上対策、動物の福祉・適正管理及び愛護精神の高揚等対策等に関する諸活動が高度専門職業人としての獣医師が組織する公益法人の公益目的事業として推進いただく上での旗印として位置付け活用いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日本獣医師会においては、特例社団法人の合併手続きにより日本動物保護管理協会を吸収合併したところではありますが、このことに伴い日本獣医師会及び地方獣医師会は、それぞれ獣医師会活動を通じての動物の福祉・愛護関係業務の一層の展開を期することとなったこと。
- 2 今後、特例社団法人については、平成25年11月末を期限とする新公益法人制度への移行が求められております。日本獣医師会及び地方獣医師会は、ともに獣医師会活動を公益目的事業として位置づけ、獣医師会活動の推進を通じ獣医師会会員組織の一層の結束と基盤強化を図ることが求められていること。
- 3 獣医師会活動に当たっては、国民的理解の醸成とともに、動物関連産業界、大学・研究機関や行政当局等との連携による支援・協力体制の確保が必要であり、特に日本獣医師会が世界獣医学協会の提唱する「世界獣医師の日」運動に呼応して開催する「動物感謝デー in JAPAN」などの獣医事向上の普及啓発活動については地方獣医師会、獣医学術団体をはじめ、広く動物関連産業界とともに推進していくことが求められること。
- 4 他方、獣医療の果たすべき役割に係る国際動向として、動物と人及びそれを取り巻く生態系が共有すべき「ひとつの健康。(いわゆる One World-One Health)」の考え方が提唱され、これの実現を研究対象とする Conservation Medicine (保全医学) が、獣医学、医学、生態学等との連携による新たな学問領域として発足し、地球環境の保全、国民生活の安全・安心確保に対する獣医師及び獣医療の一層の寄与が求められていること。

本件内容のお問い合わせ先

担当： 古賀・尾崎

電話： 03-3475-1601



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方 (One World-One Health) が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領 獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会(WCS)が提唱した。また、国際獣疫事務局(OIE)は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながる新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。